

北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案

右の議案を提出する。

令和四年十月五日

提出者

山口俊一

盛山正仁

丹羽秀樹

武藤容治

伊東良孝

新谷正義

笠浩史

吉川元

遠藤敬

岡本三成

浅野哲

塩川鉄也

福島伸享

賛成者

高木毅

御法川信英

柿沢未途

小泉進次郎

八木哲也

熊田裕通

田野瀬太道

佐々木紀

吉良州司	高橋千鶴子	笠井亮	鈴木敦	鱒淵洋子	中司宏	赤木正幸	森田俊和	おおつき紅葉	穂坂泰	鈴木隼人	牧島かれん
北神圭朗	宮本岳志	穀田恵二	田中健	輿水恵一	奥下剛光	池畑浩太郎	森山浩行	源馬謙太郎	石原正敬	若林健太	辻清人
仁木博文	宮本徹	志位和夫	古川元久	吉田宣弘	金村龍那	岩谷良平	山井和則	後藤祐一	安住淳	高村正大	青山周平
たがや亮	本村伸子	田村貴昭	赤嶺政賢	中川康洋	中野洋昌	遠藤良太	阿部司	野間健	新垣邦男	本田太郎	三谷英弘

北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議

十月四日、北朝鮮は、弾道ミサイルを発射し、青森県付近の我が国上空を通過する形で太平洋上に落下したとみられる。

北朝鮮は、今年に入ってから弾道ミサイルを計二十回にわたって発射しており、これらの高い頻度で続く一連の挑発行動は、国際社会に対する深刻な挑戦である。このような中で、平成二十九年九月十五日以来、およそ五年ぶりに我が国上空を通過する弾道ミサイルを発射した。これらは、我が国の安全保障にとって重大かつ差し迫った脅威であるとともに、地域及び国際社会の平和と安全を脅かすものである。このような北朝鮮の行為は、関連国連安保理決議及び日朝平壤宣言への違反であり、断じて容認できない。

本院は北朝鮮に対し嚴重に抗議し、最も強い表現で非難する。さらに、挑発行動を中止し、核・弾道ミサイル開発計画を直ちに放棄するよう強く求める。

国際社会は、国連安保理決議等を踏まえ、結束した外交努力を展開し、平和的な解決を模索すべきである。政府においては、国連加盟国に対し、これまでの国連安保理決議に基づく制裁措置の完全な履行を実現するよう働きかけを一層強化しつつ、米国、韓国等関係各国と緊密に連携し、北朝鮮に対する一層厳格で実効的

な措置を取るよう求めるべきである。

北朝鮮の核・ミサイル問題のみならず、拉致問題も我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる最も重大な問題であり、国際社会が結束して北朝鮮による核、ミサイル、そして、最重要課題である拉致問題の包括的かつ早急な解決を図るべく、政府の総力を挙げた努力を傾注し、もって国民の負託に応えるべきである。

右決議する。